

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 3 区分
【発行日】 令和 7 年 7 月 2 日 (2025.7.2)

【公開番号】 特開 2024-85786 (P2024-85786A)
【公開日】 令和 6 年 6 月 27 日 (2024.6.27)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2024-119
【出願番号】 特願 2022-200516 (P2022-200516)
【国際特許分類】

C 0 8 L 67/02 (2006.01)
C 0 8 L 29/04 (2006.01)
C 0 8 F 8/12 (2006.01)
C 0 9 J 167/00 (2006.01)
C 0 9 J 129/04 (2006.01)
C 0 9 J 167/02 (2006.01)
B 3 2 B 27/00 (2006.01)

10

【F I】

C 0 8 L 67/02
C 0 8 L 29/04 Z B P
C 0 8 F 8/12
C 0 9 J 167/00
C 0 9 J 129/04
C 0 9 J 167/02
B 3 2 B 27/00 D

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 6 月 24 日 (2025.6.24)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

30

生分解性ポリエステル系樹脂 (A) 及びポリビニルアルコール系樹脂 (B) を含み、生分解性ポリエステル系樹脂 (A) とポリビニルアルコール系樹脂 (B) との合計 100 質量部を基準に、生分解性ポリエステル系樹脂 (A) の含有量は 42～90 質量部であり、ポリビニルアルコール系樹脂 (B) の含有量は 10～58 質量部であり、ポリビニルアルコール系樹脂 (B) のけん化度は 75～96 モル%である、接着性樹脂組成物。

40

【請求項 2】

生分解性ポリエステル系樹脂 (A) は、ISO 527-1 に準拠して測定された破断伸びが 50% 以上である、請求項 1 に記載の接着性樹脂組成物。

【請求項 3】

ポリビニルアルコール系樹脂 (B) の粘度平均重合度は 100～5000 である、請求項 1 に記載の接着性樹脂組成物。

【請求項 4】

生分解性ポリエステル系樹脂 (A) の融点は 70℃ 以上である、請求項 1 に記載の接着性樹脂組成物。

【請求項 5】

生分解性ポリエステル系樹脂 (A) は、芳香族-脂肪族共重合ポリエステル系樹脂を含

50

む、請求項 1 に記載の接着性樹脂組成物。

【請求項 6】

前記芳香族－脂肪族共重合ポリエステル系樹脂は、ポリブチレンアジペートテレフタレートである、請求項 5 に記載の接着性樹脂組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の接着性樹脂組成物を含んでなる接着層を含む、積層体。

【請求項 8】

生分解性樹脂層、前記接着層、及びポリビニルアルコール系樹脂層をこの順に含む、請求項 7 に記載の積層体。

【請求項 9】

前記生分解性樹脂層、前記接着層、及び前記ポリビニルアルコール系樹脂層は全て ISO 14855 に準拠した生分解性の基準を満たす、請求項 8 に記載の積層体。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の接着性樹脂組成物を含んでなる接着層を含む、食品包装材料。

10

20

30

40

50